

X 災害時の対応

1 大地震が起きたら

1. 地震が起きた時の対応

大学にいる時も、まず身の安全を確保し、教職員の指示に必ず従いましょう。

(1) 地震発生	→自分の身を守る。 ・窓や棚から離れる ・落下物に注意 ・火を消す ・ドアを開け出口の確保
(2) 揺れが収まった	→安全な場所にいるなら動かない →安全な場所でなければ、震災時避難場所へ避難 さらに危険な場合、広域避難場所へ
(3) 交通機関が止まった	→歩いて帰れるなら、自宅へ →歩いて帰れないなら、避難所へ

2. 避難の仕方 (横浜市青葉区ウェブサイト 防災・避難の方法より抜粋)

(1) まず、いっとき近くの安全な場所へ	大地震が起きたら、指定された小・中学校に限らず、近くの学校や公園、空き地など広くて安全な場所に避難してください。そのために、家族で近所の安全な場所を決めておきましょう。
(2) 地域防災拠点 (震災時避難場所)	みなさんがお住まいの家が倒壊したり、また、倒壊する危険がある場合には、それぞれ、指定された小・中学校に避難します。そのために、日ごろから安全な経路を確認し、がけやブロック塀など危険な場所を避けて避難するようにしましょう。
(3) 安否の確認	安否の確認などは原則として、指定された震災時避難場所でおこないます。また、救援物資等は指定以外震災時避難場所でも受け取れます。
(4) 広域避難場所	避難している小・中学校や公園、空き地などが周辺の火災の延焼などで危険になりそうなときは、広域避難場所に避難することになります。広域避難場所についても、安全な経路を確認しておきましょう。

3. 災害用伝言板

家族や友人と安否の連絡を取る方法を決めておきましょう。

(1) 災害用伝言ダイヤル	(2) 携帯電話による災害用伝言板
<p style="text-align: center;">伝言録音</p> <ol style="list-style-type: none">① [171]を押す② ガイダンスに従って[1]を押す③ 自分の電話番号を押す④ 30秒以内にメッセージを録音 <p style="text-align: center;">伝言再生</p> <ol style="list-style-type: none">① [171]を押す② ガイダンスに従って[2]を押す③ 相手の電話番号を押す④ 相手のメッセージ再生	<ul style="list-style-type: none">• NTT ドコモ i モード災害用伝言板 http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi• au EZweb 災害用伝言板 http://dengon.ezweb.ne.jp/• SOFTBANK 災害用伝言板 アプリケーションを設定する。

4. 近くの震災時避難場所

自宅近くの震災時避難場所への行き方を確認しておきましょう。

地域防災拠点 (指定避難所)	奈良中学校	すみよし台36番地の3
	恩田小学校	桂台二丁目36番地
	鴨志田緑小学校	鴨志田町532番地
	鴨志田第一小学校	鴨志田町805番地の6
広域避難場所	グリーンヒル鴨志田西団地一体→ 本学(鴨志田町) こどもの国 桜台公園地区	

2 大学内での避難経路

あわてず落ち着いて矢印の方向に進み、
グラウンドに避難してください。

